

# 令和3年度 赤穂市学校評価

# 外部評価報告書

学校園名 赤穂市立 赤穂東中学校

## 総合的な学校関係者評価

・東中の誇りを胸に魅力ある人づくりの目標があり、期待している。学校、PTA、その他関係団体みんなが連携し達成できることではないでしょうか。学校だけの責任ではないと思いますので、広く連携をし、夢と希望に満ちた生徒を送りましょう。

・日常のあいさつの励行は、学校生活のみならず、人間社会で生活していく基礎的要素となる。今後も生徒会活動の中で定着した活動の推進を願いたい。

・昔から服装の乱れは精神の劣化をまねくと言われた時代があり、学校生活においても風紀的・環境面にも影響を及ぼす。生徒会と教諭とも連携を取りながら律して行って欲しい。

・生徒側自身にのみ全ての責任を押しつけるでなく、生徒、教師間が「一人一人の人を大切に思う」心を育てていく中で「行動・言葉」となり、自然に人と人との交流が良くなっていく毎日になりたいものです。

・新型コロナウイルス感染防止など「初めて・・・」のことも多いご苦労が多いと思いますが、学校行事、部活動など工夫して実施されることを希望します。

・感染症対策については、できる限りのことは最大限行われていると思います。学校生活については、行動が心配な学年があるのが少し気になることです。

・コロナ禍で大変な中、ご苦労様です。休校や学級閉鎖など、なかなか思うような活動ができないと思います。そんな中で先生方は子ども達のために良くやってくれていると思います。これからも子ども達が充実した学校生活を送れるようによりよくお願いします。

## 1 本年度の学校経営方針

【学校教育目標】 「高い志を持ち、学ぶ意欲と思いやりの心の充ちる生徒の育成」  
～『志』高く、行動力と、やさしさのあふれる学校をめざして～

【学校教育目標の具現化への基本方針】

- (1) 「心」あるあいさつと思いやりの心の充ちる生徒の育成に努める。
- (2) 「個」をつなぎ、「考」を紡ぎあう『学び』から、さらなる高みを求める態度を養う。
- (3) よりよい生き方を目指し、『夢』と『志』を持つ豊かな人間性を培う。
- (4) 「東中の『誇り』」を胸に、地域とともに魅力ある教育環境づくり・人づくりに努める。

## 2 本年度の学校重点目標

- (1) 確かな学力を育み、わかる授業づくりを推進する。
- (2) 人権感覚・人権意識を基盤とした学校文化を創造する。
- (3) すこやかな体を培う。
- (4) 「気づき・考え・行動する」主体的な生徒を育成する。
- (5) 特別支援教育の充実を図る。

## 3 学校教育の基盤

- (1) 魅力ある学校づくり、地域に信頼される学校づくりを進める。

## 学校関係者評価

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

## 4 自己評価結果 (A～D) A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組)		評価資料	達成 状況	改善の方策
	評価指標	および 目標値 (期待される姿)			
1. 人間として当たり前のことができる集団を育て、人としての心を育てる。	項目 指標	挨拶・服装をはじめ、基本的な生活習慣を確立させることができたか。 誰にでも気持ちのよい挨拶ができ、服装の乱れのない生活ができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○挨拶は感染症予防の面から大きな声ではできないが、笑顔で会釈をするなどなどを推進していきたい。 ○服装、時間を守ることなどの基本的な生活習慣の確立にあたっては、全職員の共通理解のもと、家庭との連絡を密にしながら、学校生活のあらゆる場面で、個々の生徒に応じた指導や対応を行う。 ○日々の学校生活で行う日番、清掃、給食当番がみんなの笑顔のために行う活動であり、ボランティア活動もクラスの仲間の笑顔のために行うことであることを理解させ実践させたい。 ○生徒1人1人が、「自分のために指導してくれている」と感じられるような言葉がけができるよう教師の研修をさらに積み上げていきたい。
	項目 指標	清掃指導やボランティア活動への参加を促す等、生徒の奉仕の心を育てたか。 熱心に清掃に取り組んだ。また、生徒会や地域のボランティア活動に積極的に参加した。	生徒アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	生徒の人権を大切にした教育を行い、生徒との信頼関係を築くことができたか。 先生は生徒のことをよく理解しており、頼りになる存在である。	生徒アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	学校行事・生徒会行事等への参加を促し、より自主的・実践的な態度の育成ができたか。 学校や地域の行事に積極的に参加し、交流を深めた。	生徒アンケート 教師自己評価		
2. 夢と希望を持ち、笑顔あふれる生徒を育てる。	項目 指標	わかる授業を創造し、生徒たちの自己実現を図り、学習意欲を高めたか。 授業はわかりやすく学習内容は理解できている。生徒はもっと勉強したいと意欲的である。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○学校のホームページ上に学習サイトを開き、家庭学習の支援を行った。双方向でないため十分な効果得られたとは言えない。 ○家庭学習が定着しておらず、SNS等に費やす時間が増えている。今後はいかにSNSを利用する時間を抑えて学習時間を増やすかが課題となる。家庭の協力を得て時間の使い方を考えさせていきたい。 ○基礎学力の定着や向上を図るため、朝の学習タイムの活用が定着してきており、今後は終わりの会後の学習時間の効果的な活用を進めたい。 ○デジタル教科書や生徒個人用のタブレット端末を活用しながら個々の習熟度に応じた課題の与え方を工夫し、有効な少人数授業の研究を推進する。 ○支援を必要とする生徒に、多くの教師が関わられるよう個別の指導計画、支援計画を活用する。
	項目 指標	家庭との連携を図り、家庭学習の習慣が確立したか。 自主的な家庭学習ができ、宿題等も期日を守って提出できる。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	授業時数を十分確保できたか。 じっくりと時間をかけた丁寧な指導で、授業がよく分かる。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	少人数授業など個に応じた指導が十分にできたか。 自分の到達度に応じた指導を受け、学習内容がよく理解できた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	特別な支援を要する生徒に対して適切な指導が行われたか。 教師は個別の支援計画を作成し、一人ひとりに応じた指導ができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業の創造ができたか。 生徒たちに思考力・判断力・表現力の方が付いた。	教師自己評価		

自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	・中学時代は人生でも大切な時であることを一人一人に認識させる必要あり。申し訳ないですが、家で学ぶべき事ができていない家庭が増えています。根気強く指導願います。 ・感染症の拡大にて、生徒・教師で活動が制限され、その中でもいろいろ工夫をしてできることから一つ一つ実行してきた。生徒間及び教師の努力と配慮等がうかがえる。今後もさらに、地道な活動となるが、さらなる感染症対応の徹底と継続をお願いしたい。 ・凡事徹底は大切なことです。あいさつや基本的な生活習慣が身につくよう、これからも指導をお願いします。
◎	○	・学校だより「若木」がすばらしい。良い教科書になると思います。地域と学校と連携し「夢と希望で笑顔あふれる学校」にしていきたいと思います。 ・コロナ禍での学校授業、学習面においても多くの課題があったことと思う。今後もこのコロナ問題とも当面共存していく活動・生活となる。 ・ホームページ、学習サイト、オンライン授業の定着も必要なのかもしれない。 ・コロナ問題にて学校生活よりもむしろ家庭での時間と学習が多くなり、SNS、スマホ、他の情報機関の発展が、自己の精神の成長について行けなくなり、自己を律する事ができず、悪影響による面も発生。また、事件事故も全国的に発生している。各方面の機関、協力、相談窓口とも連携しての対応をお願いしたい。 ・デジタル教科書やタブレット端末の活用充実のため先生方のスキルアップもよろしく願います。

A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組)		評価資料	達成 状況	改善の方策
	評価指標	および 目標値 (期待される姿)			
3. 楽しく 安心でき 充実した 生活を送 れる学校 づくりを 進める。	項目	教育相談週間(面談)や生活ノートの活用により生徒理解を深めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	C	○いじめを生まない学級経営を全教師が実践できるよう研修する必要がある。生徒理解を深め、いじめにつながる事案の早期発見、早期対応をチームとして行えるようにしたい。 ○普段の生徒の言動に関して、教師が高い人権感覚をもって向き合う事が大切である。生徒の言葉によって傷つく者がいるならば、その生徒をその場で指導する必要がある。教師自身の人権意識を更に高めていきたい。 ○不登校生徒へのアプローチは、担任だけでなくスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しながら進める。保護者へのカウンセリングを継続して実施していきたい。ケース会議等を持ち、情報を共有し取り組み方を検証しながら進めていきたい。
	指標	先生は私のことをよく理解してくれ、困ったときに先生に相談できた。			
	項目	楽しく安心できる学校づくりに努めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート		
	指標	学校に愛着を持ち、毎日登校することが楽しい。			
	項目	学級経営等の工夫により、生徒は充実した学校(学級)生活を送っているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	学級活動等で活躍することができ、学級での生活が充実している。			
4. 東中を 学びの場 としてふ さわしい 環境にす る。	項目	教室や廊下には生徒の作品やポスター類がきれいに掲示されるなど、環境が整備されているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○感染症拡大防止のため活動が制限されてきたなかで、その状況でできる行事を考え工夫して実施した。今後、行事の精選を更に検討したい。 ○委員会活動では、学校や生徒にできる感染症拡大防止を推進する取り組みを行った。世の中の状況を考え、今自分たちにできることをしっかりとやる気持ちは持たせたい。 ○感染者や濃厚接触者に対する差別や偏見を持つことのないよう道徳等で、生徒の心に響く授業を行う必要がある。また、今後も継続的に意識調査を実施し、生徒の実態に合わせた指導を心がける。
	指標	教室や廊下には掲示物が整然と貼られ、環境が整っている。			
	項目	掃除がすみずみまで行き届くなど、校舎内外の環境美化に努めているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	校舎内外ともに隅々まで清掃が行き届いている。			
	項目	教職員の言葉遣いは人権に配慮された適切なものになっているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	生徒や保護者に対して人権に配慮した適切な言葉遣いができている。			
5. 地域に 信頼され る学校づ くりを進 める。	項目	学校だよりやHPなどで学校の情報を家庭や地域に発信したか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	C	○困難な状況の中でも頑張っている生徒の様子や保護者の声が地域の方に届けられるように学校だよりやホームページを更新し、学校からの情報を発信する。 ○学校が地域の声を聞く場面を模索し、地域とのつながりを保てるよう努力する必要がある。 ○生徒、保護者、地域に信頼される教職員になるために一層の職務への専念、服務規律の確立に努める。 ○自治会、青少年育成推進委員、防犯委員、民生児童委員など、青少年の育成に関与しておられる方々の協力が引き続き得られるような教育活動を展開する。 ○日々の校内巡視や、月2回の安全点検、交通立番指導等の徹底を図る。 ○学校運営協議会で学校行事等について協議していただき、外部の方から支援していただけるよう取り組む。 ○校舎内外の環境整備や学習指導(教師の補助的作業)等にも地域の方のご協力が得られるような方策を検討する。
	指標	保護者や地域住民は、学校の状況をよく理解している。			
	項目	オープンスクール等を推進し、保護者や地域の人たちの生徒理解・学校理解を進めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	保護者や地域住民は学校行事等に積極的に参加し、また、教育活動に協力的である。			
	項目	地域行事への参加・協力を通して、学校と地域の連携を図ったか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	地域行事に積極的に参加する。			
	項目	P T A活動への協力など、P T Aと効果的な連携を図ったか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	P T Aの協力を得て、教育活動が活性化した。			
3. 楽しく 安心でき 充実した 生活を送 れる学校 づくりを 進める。	項目	学校評価を適切に行い、次年度への学校教育の指針を作成したか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	C	○困難な状況の中でも頑張っている生徒の様子や保護者の声が地域の方に届けられるように学校だよりやホームページを更新し、学校からの情報を発信する。 ○学校が地域の声を聞く場面を模索し、地域とのつながりを保てるよう努力する必要がある。 ○生徒、保護者、地域に信頼される教職員になるために一層の職務への専念、服務規律の確立に努める。 ○自治会、青少年育成推進委員、防犯委員、民生児童委員など、青少年の育成に関与しておられる方々の協力が引き続き得られるような教育活動を展開する。 ○日々の校内巡視や、月2回の安全点検、交通立番指導等の徹底を図る。 ○学校運営協議会で学校行事等について協議していただき、外部の方から支援していただけるよう取り組む。 ○校舎内外の環境整備や学習指導(教師の補助的作業)等にも地域の方のご協力が得られるような方策を検討する。
	指標	アンケート等で保護者や地域住民の声をくみ取り、次年度の学校経営方針等を策定した。(教師)			
	項目	育成推進委員会などと連携を図り、生徒たちの健全育成を推進したか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	地域諸団体の協力を得て、健全育成を推進した。			
3. 楽しく 安心でき 充実した 生活を送 れる学校 づくりを 進める。	項目	安全で安心な学校づくりに取り組んだか。	保護者アンケート 教師自己評価	C	○困難な状況の中でも頑張っている生徒の様子や保護者の声が地域の方に届けられるように学校だよりやホームページを更新し、学校からの情報を発信する。 ○学校が地域の声を聞く場面を模索し、地域とのつながりを保てるよう努力する必要がある。 ○生徒、保護者、地域に信頼される教職員になるために一層の職務への専念、服務規律の確立に努める。 ○自治会、青少年育成推進委員、防犯委員、民生児童委員など、青少年の育成に関与しておられる方々の協力が引き続き得られるような教育活動を展開する。 ○日々の校内巡視や、月2回の安全点検、交通立番指導等の徹底を図る。 ○学校運営協議会で学校行事等について協議していただき、外部の方から支援していただけるよう取り組む。 ○校舎内外の環境整備や学習指導(教師の補助的作業)等にも地域の方のご協力が得られるような方策を検討する。
	指標	定期的な安全点検、校内の巡回等、生徒の安全確保に取り組んだ。(教師)			

自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>校長を頭に全職員が一致団結し、目標に向かって取り組んで下さい。</li> <li>コロナ禍での、学校運営と学校生活で感染防止策に対応しながらご苦労があったと思う。</li> <li>いじめ問題に関しては、「人との生活、団体活動」「人と合う、どうしても合わない」などの関係性は常に発生する。その中で早期発見と対応が最も大切なことと思う。</li> <li>不登校生徒への対応は、さまざまな人の感情が伴う。人権を尊重しながらの根気ある対応が必要です。</li> <li>安心安全な学校であるようにお願いします。不登校生徒へ継続的にかかわってほしいです。</li> <li>SNSによる悪口など見えにくいことも多いと思います。</li> <li>コロナのため、地域と学校の関わる機会が少なくなっているので、学校のホームページなど充実してほしい。</li> <li>不登校の生徒が多いとうかがっています。改善方策にあるとおり担任、カウンセラー、保護者が連携してなんとか生徒が学校に来られるようにしてもらいたい。</li> </ul>
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年育成推進委員、防犯委員、民生児童委員等が地域住民との連携がかけ声倒れにならないよう、それぞれ実施されたし。</li> <li>感染症の拡大にて、生徒、教師間の活動が制限され、その中でも個々に工夫をこらしてできることから、一つ一つ実行していく活動が伺いとれる。一方今後も、さらなる地道な活動となるが、感染症防止対応の徹底と実践を継続お願いしたい。</li> </ul>
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域団体との交流、及び活動が制限される中、何よりもの糧が「学校だより」「ホームページ」等の情報発信です。継続とさらなる拡充と発展を希望します。</li> <li>外部団体、交流、支援が困難な状況下であり、今後この状況が改善されれば、私たち地域関係の各団体とも連携を取り扱う。さらなる協力支援をしていただきたい。</li> <li>地域のおじさん、おばさんとして協力できることがあれば協力します。残念ながらどう行動すればよいのか分かりません。</li> </ul>

A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組)		評価資料	達成 状況	改善の方策
	項目	評価指標 および 目標値 (期待される姿)			
6. 人間的なふれあいに基づく生徒指導を進める。	項目	全教育活動を通して、いじめ・暴力のない人間(生徒)関係づくり、学校づくりに努めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	C	○学級経営、生徒指導について教師自身が力量を高めようとする姿勢が求められる。生徒が生き生きと活動するためにどのように学級づくりを進めるのかチームとして取り組む必要がある。 ○道徳が教科化され、今まで以上に丁寧に取り組んでいる。これからも教師自身が人間性を磨く姿勢を持ち続けていきたい。 ○家庭環境等の影響で基本的な生活習慣が身につけにくい生徒も少なからずいる。SNS を利用する時間の管理等学校の指導だけでは対応できない課題もある。保護者がどのように関わればいいのかも含めた、地域の関係団体や関係機関との協力を進める。 ○生徒と教師、生徒同士の適切な関係づくりや、家庭と教師との連携に向け、教職員の資質向上研修を推進する。
	指標	学級(学校)は、安心して勉強や生活ができる場である。			
	項目	道徳教育をはじめ全教育活動を通して、他者への思いやりやマナー、命の大切さを学ばせたか			
	指標	命の大切さが分かり、人の気持ちを大切に思えるようになった。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目	問題行動が発生した時には組織的に対応し、早期の解決を図るとともに、未然防止に努めた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	教職員は問題行動に対して適切な指導をし、問題行動が減少した。			

自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	・「改善の方策」をぜひ実施されたし。 ・教師自身の人間性と教育の連携は、生徒自身に直ちに「良くも悪しき」も影響する。また、教師の人間力向上が大きく生徒の将来の基礎をも形成していく時期でもある。教諭個人の取り組みだけでなく、学校内、チーム間での取り組みが必要ではないか。 ・学校側、生徒間、家庭共に相互の関係連絡を向上し、さらに連携継続を願いたい。

### 自己評価における特記事項

○自己評価で「いじめなどの問題行動が起きた時、組織的に対応できる体制が整っている」の項目が十分できていないと回答している割合が大きい。問題行動が起こったときに一部の教師に負担がかかり過ぎたり、学校として対応が後手にまわったりしていると感じている教職員が多い。チームとして連携を深めるとともに、個々の力量を高める必要がある。

### 項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

○平日1日(火曜日が基本)と土日のどちらか1日をノー一部活デーとすることが定着してきた。一昨年よりも教職員も心身を休める時間が持てるようになってきた。しかし、感染症拡大防止のため様々な場面で変更を余儀なくされ、その対応に当たっているため勤務時間の適正化が改善されているとは言えない。職員が心身の健康を保てるよう引き続き勤務時間の適正化に取り組んでいきたい。